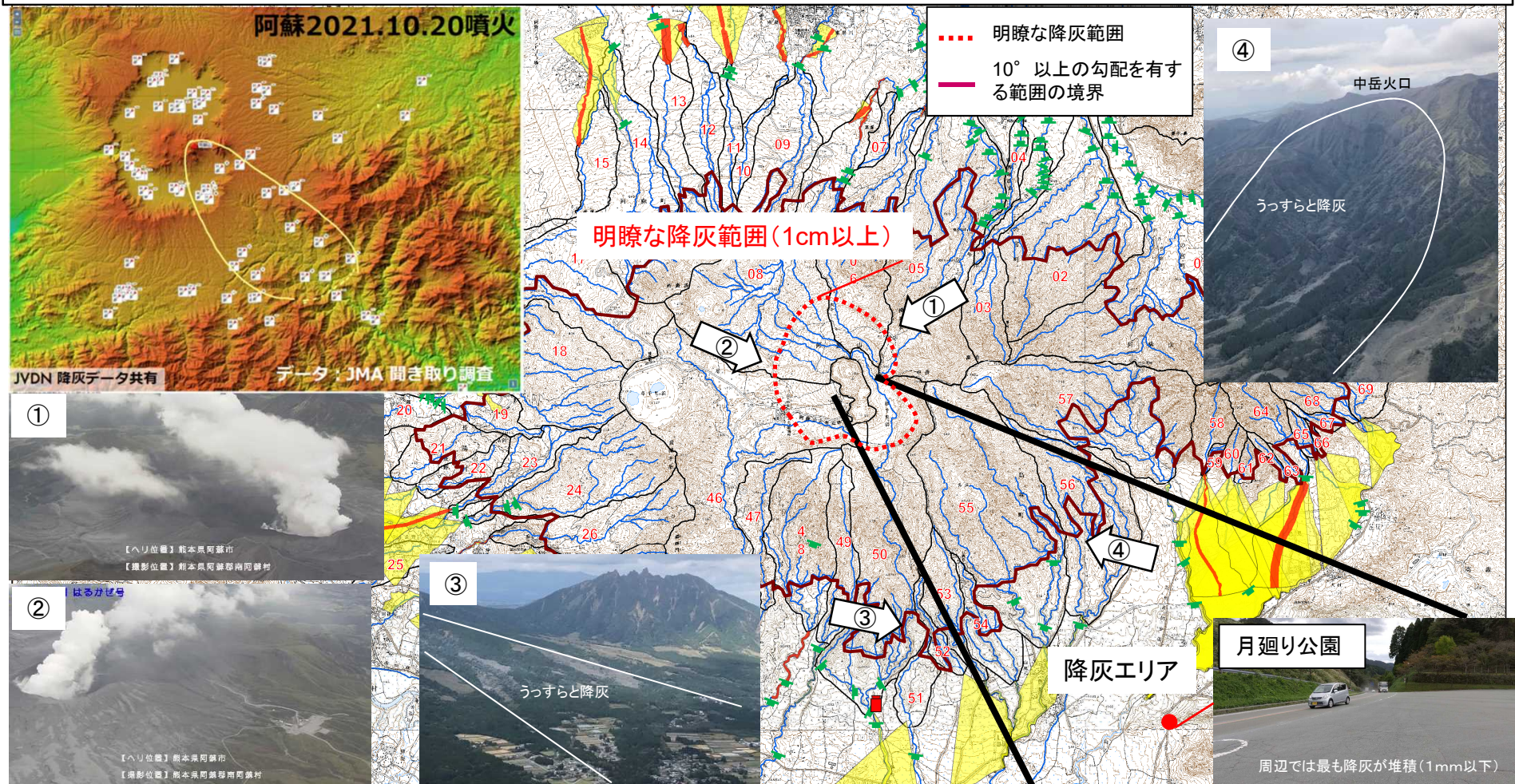


令和3年10月20日の阿蘇山噴火に伴う降灰状況等の調査 国土交通省

- 阿蘇山では、10月20日11時43分に噴火が発生。噴煙の高さは火口縁上3,500m(気象庁発表)。気象庁は噴火警戒レベルを2から3に引き上げ(警戒が必要な範囲は火口から概ね2kmの範囲)。
- 阿蘇山周辺の降灰状況等を把握するため、20日に九州地整本局によるヘリ調査及び阿蘇砂防事務所による地上からの降灰状況調査を実施。火口付近に火山灰の堆積は認められるものの、流域全体に厚く堆積はしておらず、降灰の影響によって土石流発生の危険性が高まった状況にはないことが確認された。

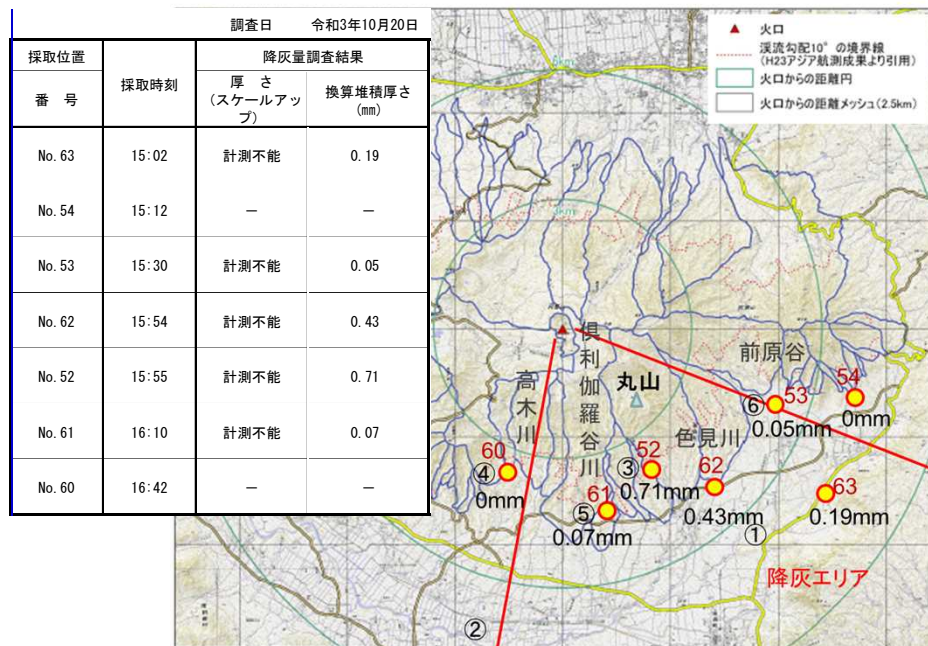


阿蘇砂防事務所による現地調査

調査日: 10月20日(水)

調査者: 阿蘇砂防事務所 調査課

調査内容: 地上からの降灰状況調査



③色見川流域内調査の状況
(流域出口の降灰状況を確認)



④高木川流域内の降灰状況
(溪流に明瞭な火山灰の堆積が無いことを確認)



⑤俱利伽羅谷川流域内調査の状況
(流域出口の降灰状況を確認)



⑥前原谷川流域内調査の状況
(流域出口の降灰状況を確認)



① 高森町からの調査状況
(火口付近から南東斜面にうっすら降灰確認)



② 南阿蘇村からの調査状況
(火口より南西斜面に降灰がないことを確認)



降灰量調査状況